

事務事業名	清嵐荘施設運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	産業振興グループ	課長名	河角郁夫
施策名	(35)観光の振興	担当者名	錦織研吾	電話番号 (内線)	0854-74-0213 4415
基本事業名	(105)受け地づくりの推進	予算科目	会計 款 項 目 中事業 4:5 0:5 0:5 0:5 0:1	清嵐荘運営事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	指定管理業務 施設修繕業務 消費税申告 施設使用料収入調定業務	昭和37年建設される。合併前は木次町吉田村一部事務組合で管理する。合併後雲南市に継承。起債償還のため特別会計を設置。平成16年10月15日から(株)吉田ふるさと村が指定管理者となる。指定期間は8年間。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
【需用費】625千円【役務費】254千円 【指定管理料】13,728千円【使用料及び賃借料】1,273千円 【工事請負費】1,817千円【消費税】580千円	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円	16,425	18,300	18,277	20,101	
	一般財源	千円	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	16,425	18,300	18,277	20,101	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
指定管理者との協議(修繕要望箇所等聴き取り)、施設修繕工事発注業務全般、消費税申告書作成及び納税処理、毎月の施設使用料収入調定など	延べ業務時間	時間	300	250	300	350	
	人件費計(B)	千円	1,144	972	1,183	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,569	19,272	19,460	20,101	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 温泉配管高濃度塩素消毒、客室エアコン修繕、ロビー天窓・浴室排煙装置修繕、地デジ対応工事、指定管理者協議、条例の一部改正 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 特殊建築物定期検査、温泉配管薬品洗浄、ボイラー取替、施設排水塩素処理装置、指定管理者更新	⑤ 活動指標							
		ア 修繕箇所	箇所	8	2	4	3		
		イ 備品購入	数	0	1	0	0		
		ウ 指定管理者協議	回	2	3	4	6		
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	国民 指定管理者	⑥ 対象指標							
		ア 国内人口	千人	127,990	128,015	127,758			
		イ 指定管理者	組織	1	1	1	1	1	1
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	施設利用者増加 適切な施設管理	ア 施設利用者(入浴券売数)	千人	43	40	39	45		
		イ 指定管理料(泉源料除く)	千円	14,190	14,145	13,728	13,471		
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	観光の振興	ア 市内観光客入込数	千人	884	936	950			
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
① 宿泊者数が減少傾向にある 要因: 景気低迷、施設老朽化 ② 施設老朽化により修繕箇所多数発生	① 指定管理者による経営努力 ② 施設修繕 ③ 庁内関係部局協議(指定管理関係) ④ 条例の一部改正	① 指定管理者からの施設改修要望 ② 指定管理料の見直し要望 ③ 指定管理期間の見直し要望 ④ 宿泊者からの施設改修要望

事務事業名	清嵐荘施設運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 市有施設で唯一宿泊付き温泉施設は、観光客の受け皿として機能している。地元雇用の場となっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 市有施設である。政策体系と合致する。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 政策体系と合致するため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 施設改修及び景況など改善、指定管理者によるサービス向上等でピーターを確保できれば増収も見込める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 施設利用者への影響あり。また市観光行政に対するイメージ悪化に繋がりがかねない。高速道路開通による市内観光入込客の受け皿が必要。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 市有温泉施設との連携、イベント企画などで集客を図るなど成果の向上に向けた取組ができる。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 施設老朽化による修繕費の増加、今後想定される指定管理料の増額、施設改修経費など、今後さらに事業費が増加する可能性があるため。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 特別会計の管理、指定管理者業務など正職員で対応すべき事務事業であるため。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 一部の受益者を対象としていないため公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	指定管理者独自で施設修繕行い良好に管理運営されている。施設老朽化に伴う修繕が追いつかない状態である。景気低迷等の影響により宿泊者数の減少に歯止めがかからない状況にある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下	×		×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下	×		×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
① 指定管理者の更新・・・指定管理者との調整、指定管理料の見直し ② 施設の改修・・・改修計画の策定																							